

「2022年度春季研究発表大会」のお知らせ

第33回 国際P2M学会 研究発表大会 The 33rd Congress of International P2M Association

「これからのプログラムマネジメント教育」

2022年度の国際P2M学会春季研究発表大会を、下記の要領にて開催いたします。大会テーマは、「これからのプログラムマネジメント教育」です。**プログラムは3ページを参照してください。**

なお、本大会は対面（千葉工業大学 津田沼キャンパス）とオンラインのハイブリッド形式にて開催する予定です。

1. 大会テーマ

「これからのプログラムマネジメント教育」

2. 開催日・形式

開催日 : 2022年4月23日（土）

開催校 : 千葉工業大学 津田沼キャンパス 7号館4階（予定）

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1

開催形式 : ハイブリッド形式（対面での参加を基本とするも、オンラインでの参加も可能）

※発表方法や参加方法の詳細は、決定次第本学会のHP上に掲載します。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては全面オンラインに変更する可能性もあります。

受付開始時刻・場所 : 9:30、7号館4階

最寄駅 : JR 総武線／津田沼駅《南口》徒歩1分、新京成線／新津田沼駅下車 徒歩3分、
京成線／京成津田沼駅下車《北口》徒歩10分

アクセスマップ : <http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/tsudanuma/>

キャンパスマップ : <https://www.it-chiba.ac.jp/institute/campus/tsudanuma/>

3. 開催団体に関する情報

主催 : 一般社団法人 国際P2M学会（※）

会長 : 国際P2M学会会長 山本秀男

開催校 : 千葉工業大学

実行委員長 : 千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科 教授 小笠原秀人

実行副委員長 : 千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科 准教授 西田絢子

※一般社団法人 国際P2M学会 : 国際P2M学会事務局 〒162-0801東京都新宿区山吹町358-5

アカデミーセンター(平日: 10時~17時) TEL: 03-6824-9371/FAX:03-5227-8631

協賛（五十音順） : 公益社団法人 化学工学会、一般社団法人 情報サービス産業協会、
一般財団法人 日本科学技術連盟、一般社団法人 日本生産管理学会、
特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会、日本 SPI コンソーシアム、
一般社団法人 PMI 日本支部

4. 大会趣旨

科学技術イノベーションを担う多様な人材の育成・活躍促進の重要性が指摘されて久しい。その中でも、研究開発活動における研究開発マネジメントとそれを担うプログラムマネージャの導入が重要視されています。その背景には、経済・社会的なインパクトを重視したバックキャスト型の研究開発制度が増加していることが挙げられます。さらに、昨今の企業活動においては、新しいデジタル技術によって既存のビジネスから脱却し、新たな価値を生み出すためのデジタル・トランスフォーメーション（DX）の取り組みが加速しています。

このように、研究開発の成果やデジタルテクノロジーを用いたさまざまな変革は、社会のあらゆる場面に押し寄せています。このような状況の中、この変革を推進する人材（プログラムマネージャ）を育成するために、大学においては「各教科での学習を、実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育」の取り組みが広がっています。また、企業においては「組織の戦略や方針のもとで複数のプロジェクトを同時に遂行する複雑な多目的型の活動」を実践するための教育に力を入れ始めています。

しかしながら、日本においてプログラムマネージャという位置付けは、プロジェクトを推進するためのリーダーであるプロジェクトリーダーと比較して、定着・認知されているとは言い難く、故に人材層は薄く、その育成システムも確立されていないと考えられます。

本大会ではこのような問題意識の下で、「これからのプログラムマネジメント教育」をテーマに、さまざまな変革を推進するための中核となるプログラムマネジメントに焦点をあて幅広く議論します。まず、基調講演では、これからの教育設計において特に重要となる考え方について紹介していただきます。次に、大学、企業、公的な研究開発の各分野における人材育成について、それぞれの分野から識者をお招きし、現状の課題とその課題を解決するための教育内容について紹介していただきます。

以上のとおり、「これからのプログラムマネジメント教育」をテーマに、皆様と議論していきたいと思っております。多くの方々のご参加をお待ち申し上げております。

5. 大会スケジュール

9:45 - 12:15 研究発表（**午前の研究発表プログラムは、次ページに掲示**）

12:15 - 13:15 昼食休憩

13:15 - 13:40 総会（学会員のみ）

13:40 - 13:50 休憩、設営

13:50 - 14:00 開会挨拶 山本秀男 氏（国際 P2M 学会会長）

開催校挨拶 関 研一氏（千葉工業大学 社会システム科学部長 教授）

14:00 - 15:00 基調講演

鈴木克明 氏

熊本大学 教授システム学センター／大学院教授システム学専攻 教授

15:00 - 15:10 休憩、設営

15:10 - 16:50 パネルディスカッション「これからのプログラムマネジメント教育」

モデレータ：小笠原秀人氏（千葉工業大学社会 システム科学部 プロジェクトマネジメント学科 教授）

パネリスト（順不同）：

鈴木克明氏（熊本大学 教授システム学センター／大学院教授システム学専攻 教授）

藤井健視氏（国立研究開発法人 科学技術振興機構 科学技術イノベーション人材育成部 部長）

古畑慶次氏（株式会社デンソー 技術企画部、博士（数理情報学））

玉木欽也氏（青山学院大学 経営学部 経営学科 教授）

16:50 - 17:00 閉会挨拶 亀山秀雄 氏（国際 P2M 学会副会長）

研究発表大会プログラム
2022年4月23日（土） 国際P2M学会2022年度春季研究発表大会
開催校：千葉工業大学
「これからのプログラムマネジメント教育」

会場	A会場（7403号室）	B会場（7404号室）	C会場（7405号室）
研究発表トラック	教育・人材育成	企業経営・研究開発	社会開発/特別プログラム
座長	沖浦文彦(A-1～4)・玉木欽也(A-5～7)	西田絢子(B-1～4)・佐藤達男(B-5～7)	田隈広紀(C-1～4)・岡田久典(招待講演)
9:45-10:05	A-1:下田篤 変化の時代における大学生に向けたマネジメント教育について	B-1:新谷幸弘 パーパス経営の視点からみた研究開発マネジメントの考察	C-1:岡田久典、永井祐二、山本百合子、中川唯、関研一 社会課題解決事業における「アジャイル型」手法の導入に関する研究
10:05-10:25	A-2:鄭周華、新目真紀、玉木欽也 P2Mを適用した授業設計と教育組織の運営方法および学習者個人の成績評価方法の開発と実証研究 未来戦略デザイン・ビジネスプロデューサー育成に向けたハイフレックス・グループワーク演習の事例研究	B-2:大谷一人 国際建設合弁事業のリスクマネジメント	C-2:谷口邦彦 地域創生の共創を通じたプログラムマネジメント学習
10:25-10:45	A-3:伊澤映子、神崎博之 アジアの高等教育機関におけるプログラムマネジメント教育の可能性-日越大学を例として	B-3:上條英樹、佐野弘幸、奥村真也 DX向けRPA開発フレームワークの拡張—複数アジャイルソフトウェア開発への対応—	C-3:山本百合子、永井祐二、岡田久典、中川唯、山崎晃 環境保全活動を通じた地域の共通価値「コモンズ」の創出
10:45-11:05	A-4:葛西恵里子、久保裕史 クラウドファンディングを活用した大学での実践的教育における統合マネジメントの適用	B-4:高野祐希、山田遥、岡田公治 ビジネスモデル変革プログラムにおけるビジネス環境シミュレータ構築法の検討—変革起点としてのシミュレーション可能なAs-Isビジネスモデル構築法—	C-4:佐藤達男 DX推進における異分野連携とアジャイルに対応したプログラムマネジメントフレームワークの提案
11:05-11:15	休憩		
11:15-11:35	A-5:常野一樹、田隈広紀 オンラインでのチームワーク能力向上の要因調査及びトレーニング方法の提案	B-5:杉原碧、木村富也、当麻哲哉 データビジュアライゼーションを用いた経営判断改善の事例研究と3Sモデルへの適用の可能性	(11:15-11:45):招待講演 環境研究総合推進費 プログラムオフィサー 亀山秀雄 研究開発マネジメントと研究評価について
11:35-11:55	A-6:中川唯、岡田久典、永井祐二、山本百合子 次世代のための国際協働による社会価値共創基盤構築の実践と分析 ～ASEP（アジア学生交流環境フォーラム）におけるP2Mと課題分析～	B-6:大島将義、内平直志 インターネットサービスにおけるアジャイル開発が持つ不確実性の低下メカニズム	(11:45-12:15):招待講演 京大大学術研究支援室 リサーチ・アドミニストレーター 園部太郎 京大大学術研究支援室(KURA)における研究開発プログラム - 研究開発評価を実践できるURA 人材育成を目指して -
11:55-12:15	A-7:平松庸一、岡星竜美、泉谷史郎、安藤裕之 プログラムの3Sモデルにおけるスパイラル構造と意味形成プロセス	B-7:田隈広紀 社会科学系学生の起業に対する意識調査及び育成方針への提言	
12:15-13:15	昼休み		
13:15-13:40	総会（国際P2M学会員のみ）		
13:40-13:50	休憩、設営		
13:50-14:00	開会挨拶：山本秀男 氏（国際P2M学会会長） 開催校挨拶：関研一 氏（千葉工業大学社会システム科学部長 教授）		
14:00-15:00	基調講演：鈴木克明 氏（熊本大学教授システム学センター／大学院教授システム学専攻 教授）		
15:00-15:10	休憩、設営		
15:10-16:50	パネルディスカッション： 鈴木克明 氏（熊本大学教授システム学センター／大学院教授システム学専攻 教授） 藤井健視 氏（国立研究開発法人 科学技術振興機構 科学技術イノベーション人材育成部 部長） 古畑慶次 氏（株式会社デンソー 技術企画部、博士（数理情報学）） 玉木欽也 氏（青山学院大学 経営学部 経営学科 教授） 小笠原秀人 氏（千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科 教授）		
16:50-17:00	閉会挨拶：亀山秀雄 氏（国際P2M学会副会長）		

6. 研究発表大会参加費関連

◆大会参加費：今大会の参加費支払いは、総て事前振込みのみにて受け付けます。

下記学会の銀行口座宛にお振込下さい。（振込最終締切：2022年4月14日（木））

4月15日以降は、参加申込ならびに参加費振込の受付は致しません。

また、4月14日迄に未振込の場合は、投稿論文を予稿集に掲載致しません。

	早期割引参加費 (4月5日まで)	参加費 (4月6日～4月14日)
会員		
: 正会員、法人会員に所属の方	10,000円	11,000円
: 学生会員	3,000円	4,000円
非会員		
: 社会人、社会人学生	13,000円	14,000円
: 学生、大学院生	5,000円	6,000円

※予稿の筆頭著者（当日の発表者）は、国際 P2M 学会会員に限られます。当学会に未加入の方は、遅くとも 2022 年 3 月 28 日（月）までに入会手続きを済ませてください。新規入会には、上記参加費とは別に、正会員が 12,000 円（入会金 2,000 円、年会費 10,000 円。社会人学生を含みます）、学生会員が 6,000 円（入会金 1,000 円、年会費 5,000 円）、必要となります。

なお、入会費の振込み先は ホームページ及び入会申請フォームに記載の「ゆうちょ銀行」口座です。大会参加費振込口座とは異なりますのでご注意ください。

入会手続きの詳細は、学会ホームページをご覧ください

→ <http://iap2m.org/accept>

◆ 午後の部（13:50～17:00）のみの参加費：学会員、非会員とも：3,000 円

◆ 大会参加費振込み先銀行口座：

銀行名 三井住友銀行（銀行コード：0009）

支店名 飯田橋支店（店番号：888）

種別 普通

口座番号 7098073

口座名義 一般社団法人 国際 P2M 学会

※大会参加申し込み Web 画面で「領収書 ●必要」を選択した方には、大会開催後、領収書（PDF）をメールで送付いたします。

◆ 留意事項

※ 振込済みの参加費は、不参加の場合でも返金できません。

7. 参加申し込み方法

◆ 参加申込期限

論文投稿者：3月25日（金）迄に申込み登録を済ませてください。

大会参加のみの方：参加費振込の最終締切4月15日（金）迄に申込登録を済ませてください。

◆ 研究発表大会参加申込みはこちらから（注：発表者も、申込み登録が必要です）

http://www.iap2m.org/regist_taikai.html

◆ 参加登録に関する参考情報

ブラウザが Internet Explorer の場合、バージョンが新しいと無応答になる場合があります。

次の操作を参考にしてください。<http://www.iap2m.org/pdf/ie201309.pdf>

8. 発表者への要旨及び予稿投稿に関するご案内

◆ 要旨の投稿期限及び方法

投稿期限 : 2022年3月7日(月) 24時(厳守) **締め切りました**

投稿方法 : 要旨は、次の URL から、web 登録画面に従い入力して下さい。

http://www.iap2m.org/regist_smallcongress.html

査読選択 : 予稿論文の審査を希望される方は、査読希望「●有」を画面上で選択してください。

尚、採択後の論文の学会誌掲載料は 30,000 円です。

スライド形式のみの予稿も歓迎します。但し、その場合、査読は選択できません。

◆ 予稿の投稿期限及び方法

投稿期限 : 2022年3月28日(月) 24時(厳守) ※締切後の投稿は一切受け付けられません。

投稿方法 : 要旨投稿時に登録されたメールアドレス宛に、後日、編集委員から「予稿投稿方法」に関するメールが届きます。

それに従い、MS-Word および PDF 形式の予稿を投稿してください。

◆ 受付メール確認のお願い

要旨及び予稿投稿後各 1 週間以内に、編集委員より受付メールを登録アドレス宛に送信します。

なお「(at)iap2m.org ((at)を@に読みかえてください。)」のドメインから届くメールが、迷惑メールフォルダに入らないように設定してください。万が一、着信しなかった場合は、下記学会事務局宛にお問い合わせ下さい。

国際 P2M 学会事務局 <http://iap2m.org/con-2/>

◆ 査読を希望される方へ :

査読論文 : 当学会では、予稿が査読論文として審査されます。ただし、発表された論文に限ります。

頁数 : 最大 20 ページ

論文形式 : 本学会 HP「学会論文関連情報」(下記 URL)にある規程等(「学会論文投稿規程」、「学会論文投稿規程補足」、「著作権規程」)を遵守してください。合わせて「学会論文審査規程」についてもご確認ください。これらは 2021 年 8 月 7 日に新たに掲載されたものであり、従来のものより改訂されていますので、必ず確認いただくようお願いします。

また「書式サンプル」も下記 URL に掲載されていますので、ご活用ください。

学会論文関連情報 : <http://iap2m.org/ronbun-info/>

補足 : (1) 予稿集に掲載された論文は、辞退などにより発表されなかった場合も、同じ内容では再投稿はできません。

(2) 予稿に P2M との関連性と関連参考文献を明記願います。

当学会の過去の論文誌は、J-stage から閲覧できます(最新号は会員のみ閲覧可)。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/iap2mjour/-char/ja>

(3) 論文執筆経験が浅い方は、次のリンクにある Youtube「IAP2M チャンネル」にある P2M の基礎知識、事例による P2M の理解、論文の書き方に関する動画を視聴するほか、学術論文作成経験者から論文作成の指導を受けることをお勧めします。

<https://www.youtube.com/channel/UCeBCLQNhDeNpbaYVi7EfuA>

英文の要旨(または英文本文)は、可能な限り英文としての品質向上に努めて下さい。

◆ 発表方法 : 発表者は、対面に参加、あるいはオンラインで参加のどちらかを選択して下さい。

(予定) どちらの参加形式の場合でも、発表時には Zoom に入り、“画面を共有”して発表して下さい。

Zoom の URL は、大会前日までにお知らせします。

発表は録画し、期間限定で大会参加者に公開します。

※ 上記の発表方法は予定であり、変更される場合があります。

※ 発表方法の詳細は、決定次第本学会の HP 上に掲載します。

◆ 発表時間：発表 15 分以内、質疑応答 5 分

投稿された論文数によって発表時間等は変動する可能性があります。

詳細は 4 月中旬以降に学会 HP 上で発表しますので、ご確認ください。

◆ 発表奨励賞：各発表分野別に受賞者を選出し、表彰します。

9. P2M セミナー動画の更新、掲載

国際 P2M 学会では、P2M の基礎知識や適用事例を知りたい方、本分野での研究発表や論文投稿経験の浅い方のために、これらを本学会ベテラン講師陣が分かりやすく解説した次のセミナー動画（YouTube）を作成しています。

今般、これまで掲載されていたものに加えて、次の二つの動画を追加しました。

「プログラムマネジメントの概要 – 企業経営とプロジェクトの事例から –」 武富為嗣 評議員会議長

「P2M に関する FAQ」 山本秀男 会長

詳しくは、次のリンクをご参照ください。

<http://iap2m.org/youtube/>

10. お問い合わせ先：国際 P2M 学会事務局 <http://iap2m.org/con-2/>

以上